

## 2 実習・実技等の取組状況

### (1) 実習体験

本校には、6つの認定こども園と1つの附属幼稚園があります。実習に備えて子どもと触れ合う機会を作り、保育者のあり方や保育の現場について知るために教育実習指導の一環として附属幼稚園及び幼保連携型認定こども園での実習体験を行います。保育の実際をよく観察し、子どもたちと積極的にかかわりながら、子どもを理解するとともに、観察の視点の持ち方、記録のとり方など、保育者(保育者を目指す者)としての知識や技術、心構え等を学びます。

附属幼稚園	越谷保育専門学校附属吉川幼稚園	(埼玉県吉川市)
	幼保連携型認定こども園霞が関幼稚園	(埼玉県川越市)
認定こども園	幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園	(千葉県柏市)
	幼保連携型認定こども園越谷さくらの森	(埼玉県越谷市)
	越谷保育専門学校附属幼稚園	
	幼保連携型認定こども園みさとさくらの森	(埼玉県三郷市)
	越谷保育専門学校附属みさと団地幼稚園	
	幼保連携型認定こども園戸頭さくらの森	(茨城県取手市)
	戸頭幼稚園	
	認定こども園吉川さくらの森	(埼玉県吉川市)

### (2) 実習

実習は、授業で学んだ知識や技術等を基礎とし、現場での直接的な体験を通して、理論と実践の関係について習熟するとともに、さらにそれを理論的に深めていくことを目的とします。

#### 【教育実習】

##### 1 教育実習について

各科目での学びを通して幼児の理解を深め、理論的な知識を基礎に幼稚園教諭としての必要な知識・技術について実践的、総合的に理解を深めていく。具体的な視点を持ち、積極的な試みをとおして子どもの理解を深めます。

##### 2 教育実習の目的

- ① 子どもを理解する。
- ② 幼稚園教諭の役割と仕事・保育の営みを理解する。
- ③ 学校で学んだ知識や理論と実際の保育実践の結びつきを理解し総合的に理解し実践する。
- ④ 幼稚園の役割・保護者への支援について理解する。
- ⑤ 幼稚園教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ自己評価する。

##### 3 教育実習の単位について

告示科目	履修科目及び実習	内容	開設年次	授業及び実習期間	単位数
教育実習	教育実習指導	実習の意義や目的、実習に必要な知識技術	1年次前期	15回(授業)	1単位
	教育実習Ⅰ	幼稚園実習 観察、参加、部分実習	1年次9月	2週間	2単位
	教育実習Ⅱ	幼稚園実習 部分、責任実習	2年次9月	2週間	2単位

#### 【保育実習】

##### 1 保育実習について

保育士を目指すものとして、実習をとおして自覚を深め、積極的に保育の場に参加することを通して、子どもへの援助技術や知識を体験的に習得するとともに、保護者支援についても学びを深める。

## 2 保育実習の目的

- ①児童福祉施設の役割・内容等を現場での体験を通して理解する。
- ②既修の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。
- ③保育援助の実践を通して自己の適正を見つめながら、保育士に求められる資質を磨く。

## 3 保育実習の単位について

履修科目及び実習		内 容	開設年次	授業及び実習時間	単位数
保育実習指導ⅠA		実習の意義や目的 実習に必要な知識、技術	1年次後期	15回(授業)	1単位
保育実習指導ⅠB				15回(授業)	1単位
保育実習Ⅰ	保育実習ⅠA	認可保育所及び認定こども園実習 (観察、参加、部分実習)	1年次2月 (一部3月)	80時間以上 (おおむね10日間)	2単位
	保育実習ⅠB	保育所を除く福祉施設等 観察、参加、部分実習	1年次3月 (一部2月)	80時間以上 (おおむね10日間)	2単位
保育実習指導Ⅱ		専門性と職業倫理の理解 保育実践力の育成	2年次前期	15回(授業)	1単位
保育実習Ⅱ		認可保育所及び認定こども園実習 (部分、責任実習)	2年次8月	80時間以上 (おおむね10日間)	2単位

### (3) 令和3年度 実習先件数

教育実習Ⅰ・Ⅱ

143人 92か所

保育実習ⅠA

67人 59か所

保育実習Ⅱ

70人 57か所

保育実習ⅠB

34人 17か所  
(1年34名・2年0名)